

日田特産のげたを履いてダンスをする日田市のグループ「日田もりあ下駄い」が、軽やかな音を元気よく響かせています。

①グループ結成の目的は何でしょう。

②なぜ、「げた」を使っているのでしょうか。

# 軽やか げたダンス



日田ばたダンスの練習をするメンバーたち＝日田市中央1丁目の空き店舗

中心メンバーは、この地  
グルメで町おこしをする  
「日田やきそは研究会」の  
パフォーマンス担当ら。昨  
秋あつた「B-1グランプリ  
リ・イン北九州」で、「日  
田げたダンス」を披露した  
のをきっかけに、さらに活動  
の幅を広げようと結成して  
いた。

ダンスシチューズなどでは  
なく、日田杉で作ったけん  
を履き、歌謡曲などに合わせ  
せて独自のダンスをする。  
振り付けは、東京でダンス  
活動をしていた渡辺共同  
代表(32)。心地よいげなス  
テップなどを工夫している  
という。本番では裏のゴム  
敷きを外したけんを使い、  
「和の響き」を演出していく

# ステップ工夫 和の響き演出

9月には由田で、九州P.  
「1ケランブリ」がある。  
共同代表2人は「楽しく感  
り上げたい気持ちでいっぱい  
い。けたが好き、由田が好  
きな人はぜひ一緒に」と呼  
び掛ける。問い合わせは本  
野共同代表(☎090-9  
766-58072)へ。

4年の曾我徹君は「けたダンスは『けたの音がすごく気持ちいい』。2ヵ月前に入会した那須彩香さん(29)と横尾アリ弥さん(25)も「ダンスは未経験だけどとにかく楽しいです」。

メンバーは小学生10人を含む、幼児から40代の約20人。渡辺共同代表を先生に普段は2週間に1回程度、イベント前は週2、3回練習する。

(2013年7月10日朝刊13面)

③自分たちの地域の特産品で、ダンスに取り入れられそうなもののはありますか。考えてみよう。